

研究課題 (テーマ)	英語 e ラーニング教材を活用した 横断的および縦断的な調査により 学生の「英語力」を把握する		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育センター	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>富山県立大学のカリキュラムポリシーでは、「コミュニケーション能力」や「英語運用能力」の養成を掲げている。実際、こうした目的を達成するまでの過程において、それぞれの学生の「英語力」を横断的および縦断的に調査することが重要になるのではないかとと思われる。本プログラムでは、本学学生の「英語力」について把握することを主な目的としている。</p> <p>令和2年度は、学生による学内への立ち入り規制などを含む社会状況等を鑑み、英語 e ラーニング教材を用いて、オンラインで調査を実施することになった。</p> <p>対象学生： 工学部生、及び看護学部生 合計 1,213 名</p> <p>英語 e ラーニング教材 使用期間： 1 年間</p> <p>コロナ禍においても、継続的に本学学生の「英語力」を調査しなければならないという状況があった。本学では「初」となる「英語 e ラーニング教材」の導入を試みることができたことによって得られた結果などを、今後に役立てることができれば良いであろう。本調査が、効果的に効率よく英語の習得等を促進することができる「教材」や「プログラム」などを開発することにつながり、その結果として、本学の英語教育を行う際の一助になればと考える。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、今回の分析結果を「教材」や「プログラム」などの開発やクラス編成などにも役立てることができれば良いと考える。さらに英語教育改革を推し進めることが大いに期待される。</p>			